

洋上風況マップ
操作説明書

平成 30 年 3 月

- 目次 -

1. 概要	1
1-1. 本システムの概要.....	1
1-2. 用語の説明.....	1
1-3. 測地規準系について.....	1
1-4. 画面構成.....	2
2. 地図	4
2-1. 地図操作.....	4
2-1-1. マウスカーソルを利用した地図移動.....	4
2-1-2. 拡縮バーを利用した地図の拡大縮小.....	5
2-2. 地図表示.....	6
2-2-1. レイヤの表示・非表示を切り替える.....	6
2-2-2. レイヤの透過率の設定.....	8
2-2-3. 凡例を確認する.....	9
2-2-4. レイヤ一覧及び凡例メニューの表示・非表示を切り替える.....	10
3. 検索	11
3-1. 地名検索.....	11
3-2. 座標検索.....	11
4. 機能	12
4-1. 緯度経度表示.....	12
4-2. ポイント登録.....	13
4-3. 距離・面積計測.....	14
5. 風況詳細	15
5-1. 風況詳細データ表示.....	15
5-1-1. 風配図.....	16
5-1-2. 季節／経年変化.....	16
5-1-3. 鉛直分布.....	17
5-1-4. 発電電力量.....	17
5-2. レポート出力.....	18
5-3. ダウンロード（風況詳細データ）.....	19
5-4. 風況詳細データフォーマット.....	19
5-4-1. 風配図.....	19
5-4-2. 風速の季節変化.....	21
5-4-3. 風速の経年変化.....	22
5-4-4. 風速の鉛直分布.....	23

6. ダウンロード	24
6-1. GIS データダウンロード.....	24
6-1-1. shp データ.....	24
6-1-2. kmz データ.....	25
6-1-3. csv データ.....	25
7. 印刷	27
7-1. 地図印刷.....	27
7-2. 地図印刷の設定.....	29
8. データの出典情報	30
8-1. システム上でデータの出典情報を表示する.....	30
8-2. 本システムで扱うデータの出典一覧.....	30

1. 概要

1-1. 本システムの概要

本システムではブラウザを利用して、地図の操作（拡大・縮小・地図の移動）、検索、印刷を行い洋上の風速等に係るデータを閲覧することができます。

1-2. 用語の説明

本システムで使用する用語を説明します。

1次メッシュ

標準地域メッシュと呼ばれる、緯線・経線を基にして地域をほぼ同じ大きさに分けた網の目（メッシュ）。1～3次メッシュが標準地域メッシュとして定められています。1次メッシュは約80km四方です。

レイヤー

レイヤー構造とは、画面を積層構造に分割したものです。分割された1枚1枚のイメージを「レイヤー」と呼びます。実際の地図では、全てのレイヤーのイメージを重ね合わせて表示されます。

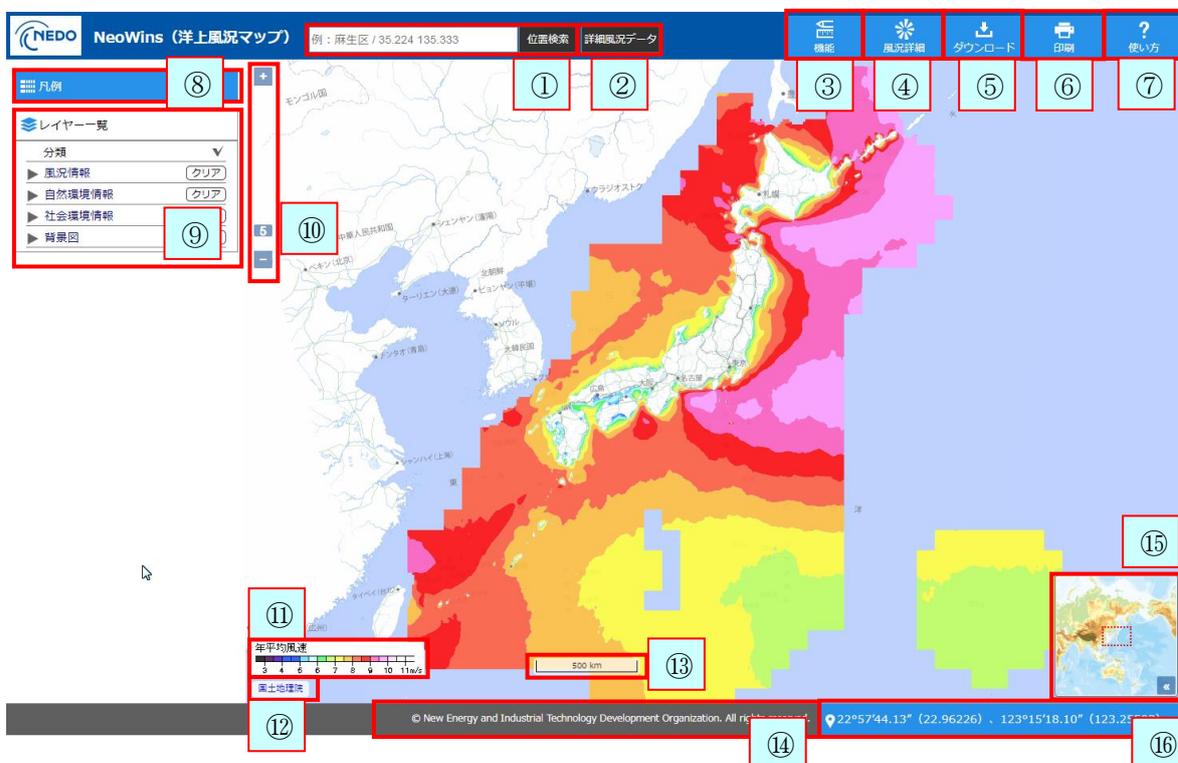
1-3. 測地規準系について

本システムで利用している測地規準系は、世界測地系です。

1-4. 画面構成

洋上風況マップの画面構成を説明します。

▼洋上風況マップトップページ



- ① 位置検索：地名または座標を検索（※1）します。
- ② 詳細風況データ：検索ボックスで指定した緯度経度の風況データをダウンロードします。
- ③ 機能：緯度経度グリッド表示や、ポイント登録、距離計測を行います。
- ④ 風況詳細：風況情報の詳細を表示します。（※2）
- ⑤ ダウンロード：風況情報の GIS データをダウンロードします。
- ⑥ 印刷：表示中の地図を印刷します。（※2）
- ⑦ 使い方：使い方の PDF を表示します。（※2）
- ⑧ 凡例：地図上に表示している凡例を表示します。
- ⑨ レイヤー一覧：地図上に表示できるレイヤー（※3）を一覧表示します。
- ⑩ 拡張バー：地図表示を拡大・縮小します。
- ⑪ 年平均風速の凡例：年平均風速の凡例です。
- ⑫ 出典：背景データの出典を表示します。
- ⑬ スケール：表示されている地図の縮尺を表示します。
- ⑭ フッター：本サイトおよび本サイト提供者の情報を示します。
- ⑮ 表示範囲図：表示されている地図範囲を表示します。
- ⑯ 緯度経度：地図上に表示しているカーソル位置の緯度と経度を表示します。

※1：検索には、下記があります。

地名検索：地名から位置を検索します。都道府県と市町村で絞り込みできます
座標検索：緯度経度の座標へ地図内を移動します

※2：②～⑥の機能は、ブラウザの表示エリアが狭くなると[Menu]リストに格納されます。
[Menu]をクリックすると、機能が一覧表示されます。

緯度経度グリッドを表示します。

ポイント登録ダイアログを表示します。

距離・面積計測ダイアログを表示します。

風況情報の詳細を表示します。

風況データをダウンロードします。

表示中の地図を印刷します。

マニュアルの PDF を表示します。

使い方の PDF を表示します。

リンク集を表示します。

機能 | 緯度経度

| ポイント登録

| 距離・面積計測

風況詳細

ダウンロード

印刷

使い方 | マニュアル

| 使い方

| 関連リンク

※3：レイヤーは以下に分類されています。

風況情報：高度別平均風速のシミュレーション結果を表示します。
自然環境情報：自然環境に関する各種データです。
社会環境情報：社会的環境に関する各種データです。
背景図：地図の背景図です。

2. 地図

2-1. 地図操作

表示されている地図を移動させて、表示位置を変更する方法です。

2-1-1. マウ斯卡ーソルを利用した地図移動

マウスカーソルを使用して地図内を移動します。地図をドラッグ&ドロップします。



クリックした方角に地図表示が移動します。移動は日本の周辺に限ります。

知床半島が東に移動し、地図外に隠れていた[留別]が表示されました。



2-1-2. 拡張バーを利用した地図の拡大縮小

拡張バーを使用して地図を拡大・縮小します。

[拡張バー]をクリックすると、クリックしたスケールで地図が表示されます。



[+]ボタンをクリックすると、地図が一段階拡大して表示されます。

マウスのホイールを奥へ回転させると、地図が拡大して表示されます。



[-]ボタンをクリックすると、地図が一段階縮小して表示されます。

マウスのホイールを手前へ回転させると、地図が縮小して表示されます。



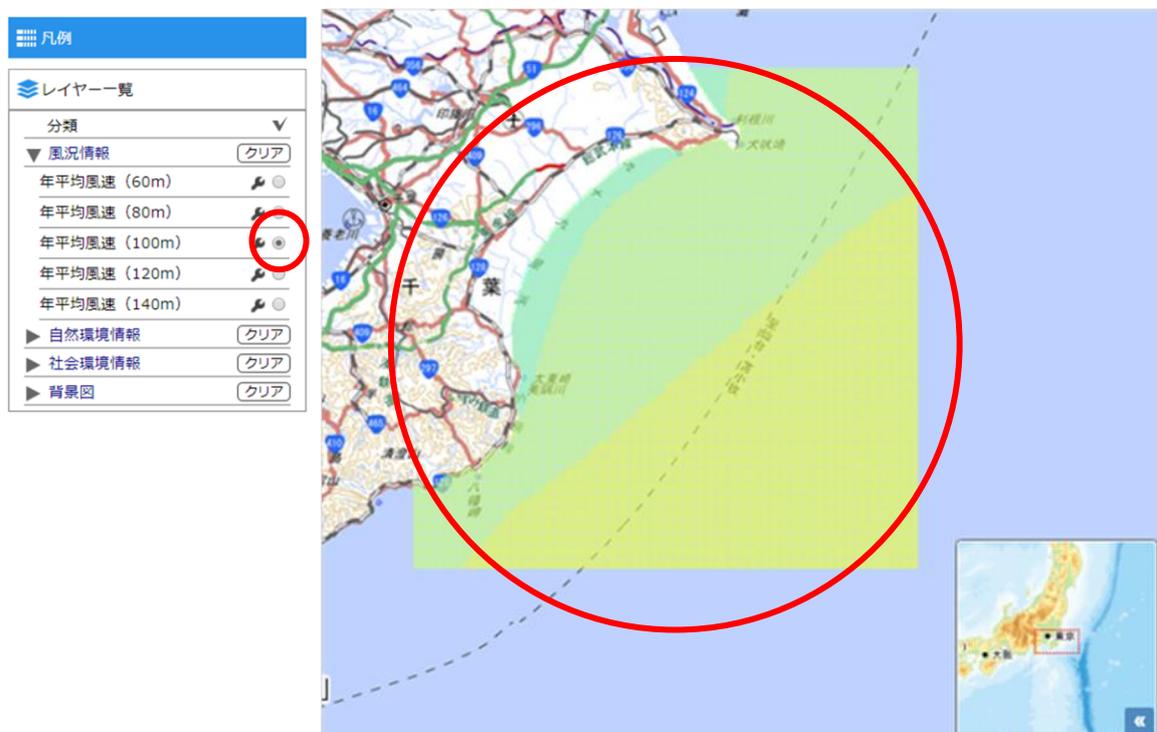
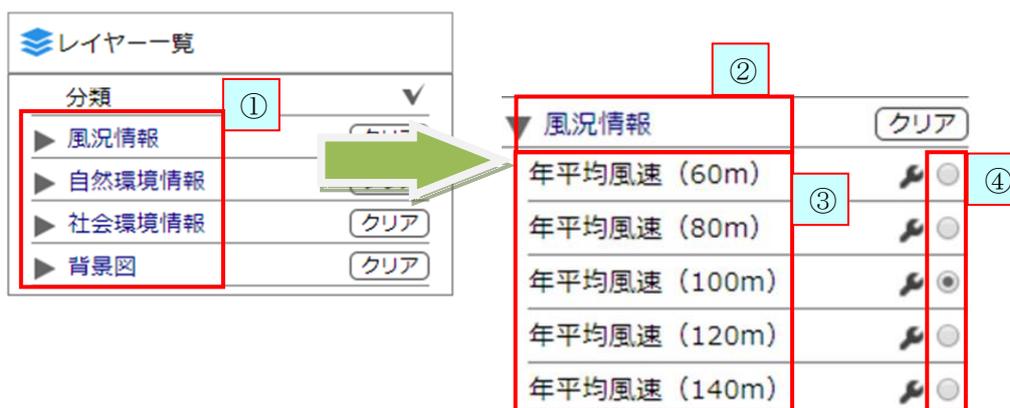
2-2. 地図表示

搭載されているデータを表示したり、透過率を設定する方法です。

2-2-1. レイヤーの表示・非表示を切り替える

レイヤー一覧から大分類①をクリックして、中分類②を表示します。

中分類をクリックして小分類③を表示します。※小分類のないレイヤーでは表示されません。小分類の一覧から、表示したい項目にチェックをいれます④。



搭載されているデータは凡例一覧で確認することができます。

大分類のクリアボタンをクリックすると、大分類配下のレイヤー項目のチェックが全て外れ、レイヤーが非表示になります。

レイヤー一覧

分類	▼
▶ 風況情報	クリア
▼ 自然環境情報	クリア
藻場	<input checked="" type="checkbox"/>
干潟	<input checked="" type="checkbox"/>
サンゴ礁	<input checked="" type="checkbox"/>
水深(値)	<input checked="" type="checkbox"/>
等深線	<input checked="" type="checkbox"/>
ウミガメ産卵地	<input checked="" type="checkbox"/>
哺乳類生息地	<input checked="" type="checkbox"/>
鳥類生息地	<input checked="" type="checkbox"/>
離岸距離	<input checked="" type="checkbox"/>
▶ 有義波高	
▶ エネルギー周期	
▶ 海洋地質図(表層堆積図)	
▶ 海洋地質図(海底地質図)	

レイヤー一覧

分類	▼
▶ 風況情報	クリア
▼ 自然環境情報	クリア
藻場	<input type="checkbox"/>
干潟	<input type="checkbox"/>
サンゴ礁	<input type="checkbox"/>
水深(値)	<input type="checkbox"/>
等深線	<input type="checkbox"/>
ウミガメ産卵地	<input type="checkbox"/>
哺乳類生息地	<input type="checkbox"/>
鳥類生息地	<input type="checkbox"/>
離岸距離	<input type="checkbox"/>
▶ 有義波高	
▶ エネルギー周期	
▶ 海洋地質図(表層堆積図)	
▶ 海洋地質図(海底地質図)	

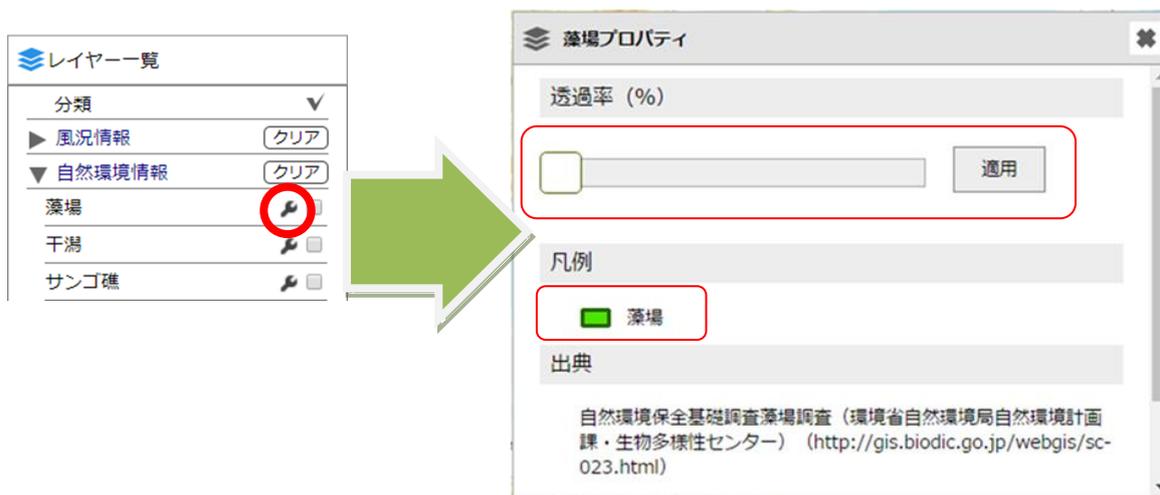
2-2-2. レイヤーの透過率の設定

レイヤー一覧から大分類をクリックして、中分類を表示します。

中分類をクリックして小分類を表示します。※小分類のないレイヤーでは表示されません。

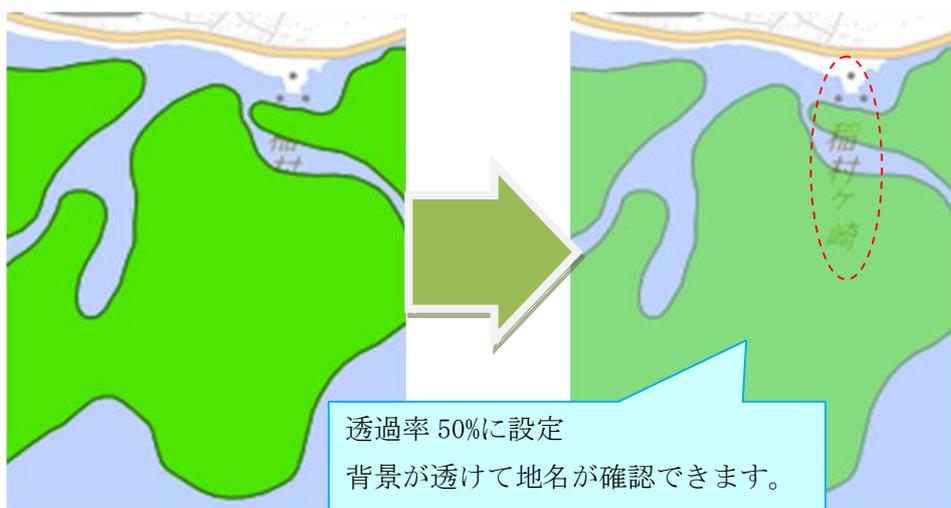
中分類あるいは小分類から、透過率を設定したいレイヤーのスパナマークをクリックします。

レイヤーの透過率、凡例一覧、出典、提供ズームレベル範囲が表示されます。



透過率のツールバーをドラッグして透過率を指定した後、[適用]ボタンをクリックします。

レイヤーの透過率が変更されます。



2-2-3. 凡例を確認する

[凡例] ①をクリックすると、レイヤー一覧でレイヤー表示設定されている項目のみ②が凡例パネル③に表示されます。

NEDO NeoWins (洋上風況マップ) 例：麻生区 / 35.224 135.333 位置検索 詳細風況データ

機能 風況詳細 ダウンロード 印刷 使い方

① 凡例

レイヤー一覧

分類

▼ 風況情報 (クリア)

年平均風速 (60m)

年平均風速 (80m)

年平均風速 (100m)

年平均風速 (120m)

年平均風速 (140m)

▼ 自然環境情報 (クリア)

藻場

干潟

サンゴ礁

水深 (磯)

等深線

ウミガメ産卵地

哺乳類生息地

鳥類生息地

離岸距離

有義波高

エネルギー周期

海洋地盤図 (詳細地図)

②

③ 凡例

風況情報

年平均風速 (100m)

- 3.0m/s未満
- 3.0-3.5m/s
- 3.5-4.0m/s
- 4.0-4.5m/s
- 4.5-5.0m/s
- 5.0-5.5m/s
- 5.5-6.0m/s
- 6.0-6.5m/s
- 6.5-7.0m/s
- 7.0-7.5m/s
- 7.5-8.0m/s
- 8.0-8.5m/s
- 8.5-9.0m/s
- 9.0-9.5m/s
- 9.5-10.0m/s

年平均風速

3 4 5 6 7 8 9 10 11m/s

500 m

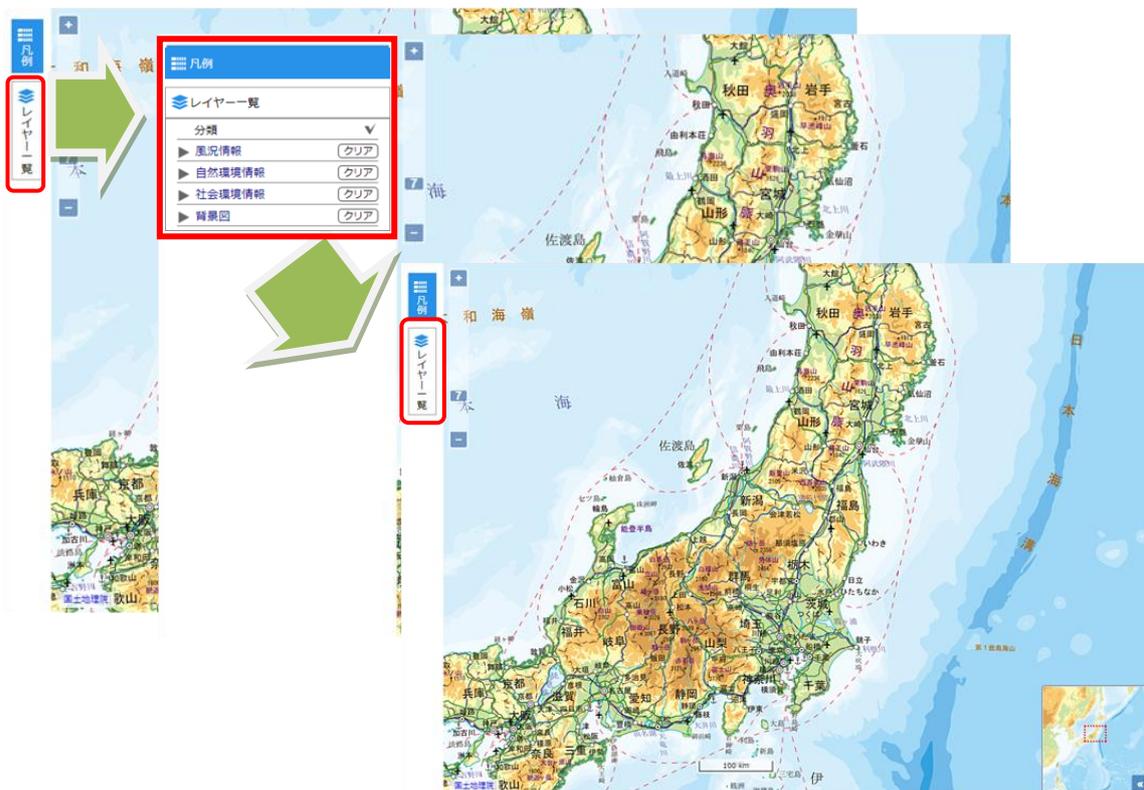
© New Energy and Industrial Technology Development Organization. All rights reserved. 35°19'13.59" (35.32044) 、 139°30'18.37" (139.50510)

2-2-4. レイヤー一覧及び凡例メニューの表示・非表示を切り替える

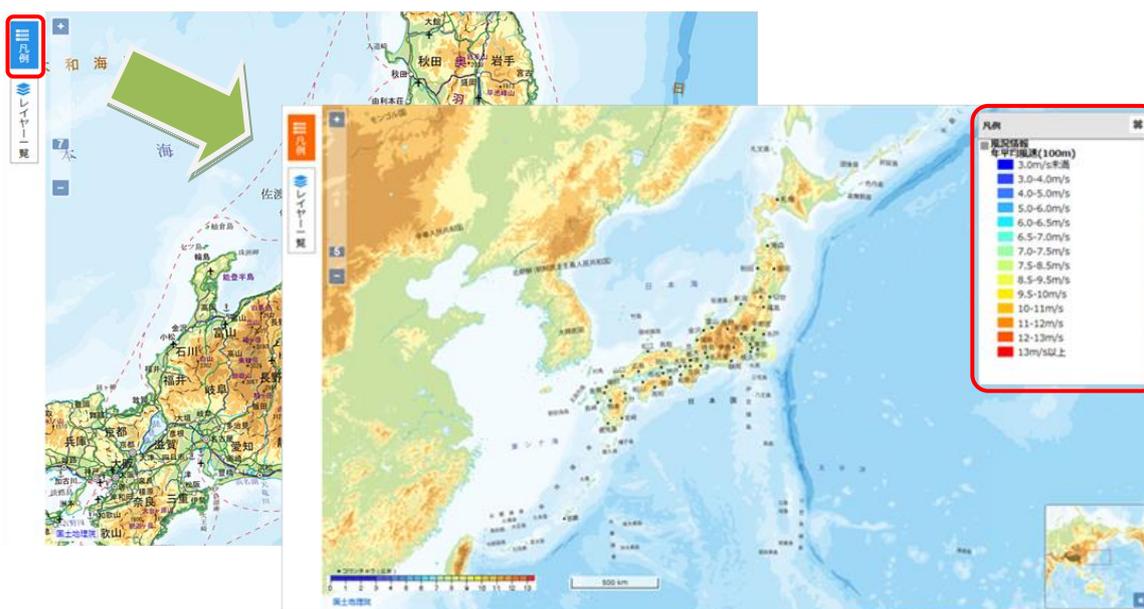
レイヤー一覧メニューの表示・非表示を切り替えます。

[レイヤー一覧]をクリックすると、レイヤー一覧メニューが最小化されます。

[レイヤー一覧]が最小化された状態でクリックすると、レイヤー一覧メニューが表示されます。



[凡例]も同様に表示・非表示を切り替えることができます。



3. 検索

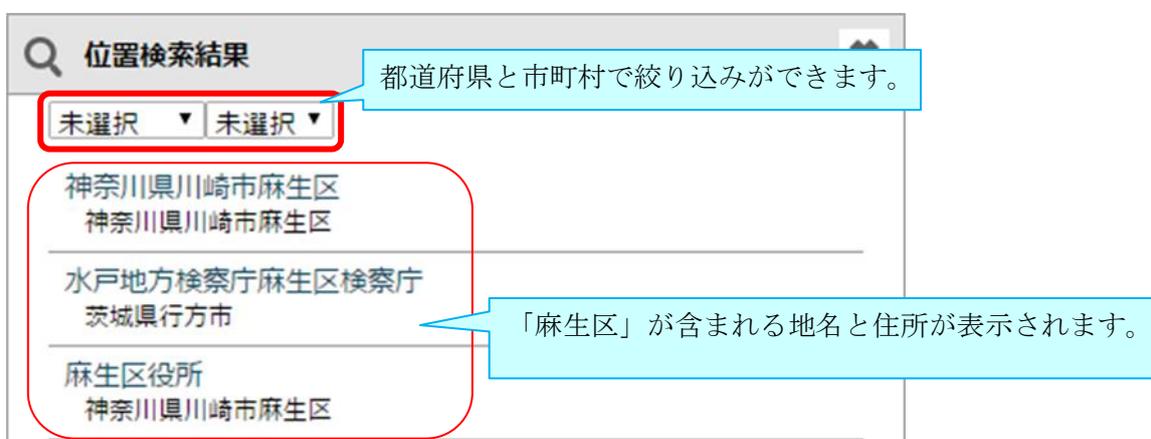
3-1. 地名検索

地名で検索して、地図の表示位置を移動します。

地名を入力し、検索ボタンをクリックします。地名は一部のみでも検索できます。



地名が含まれる住所や施設が検索結果一覧に候補として表示されます。



検索結果一覧では都道府県と市町村で地名の候補を絞り込むことができます。

候補の地名をクリックすると、地図上の該当箇所が拡大表示されます。

※地名検索は、国土交通省国土地理院が提供している[地理院地図](#)で使われている住所検索機能、又はCSIS シンプルジオコーディング実験 ([街区レベル位置参照情報](#)、[国土数値情報](#))を利用しています。

3-2. 座標検索

座標で検索して、地図の表示位置を移動します。

数字で緯度と経度を入力し、検索をクリックします。緯度と経度の間は空白、半角カンマまたは全角カンマで区切ります。

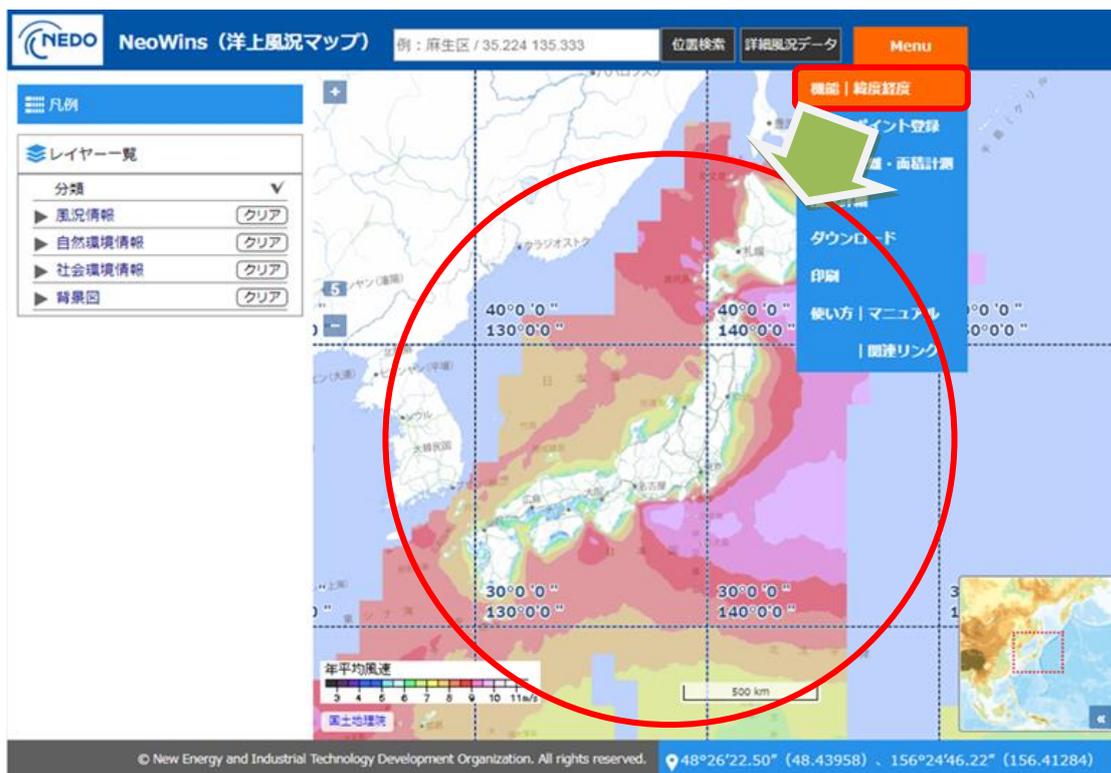


※緯度経度は逆に入力しても検索できます。

4. 機能

4-1. 緯度経度表示

機能の[緯度経度]をクリックすると、地図上に緯度経度グリッドを表示します。



4-2. ポイント登録

機能の[ポイント登録]をクリックすると、ポイント登録ダイアログが表示されます。

地図上の任意の場所をクリックすると、設定したテキストや色でポイントが描画されます。



4-3. 距離・面積計測

機能の[距離・面積計測]をクリックすると、距離・面積計測ダイアログが表示されます。

地図上の任意の場所をクリックすると、設定した色で線(ライン)または(ポリゴン)が描画され、その長さまたは面積計測結果が表示されます。

The screenshot shows the NeoWins (洋上風況マップ) interface. The top navigation bar includes the NEDO logo, the title 'NeoWins (洋上風況マップ)', a search bar with the example location '例: 麻生区 / 35.224 135.333', and buttons for '位置検索', '詳細風況データ', and 'Menu'. On the left, there is a 'レイヤー一覧' (Layer List) panel with categories like '風況情報' (Wind Information) and '自然環境情報' (Natural Environment Information). The main map area shows a coastal region with a red circle highlighting a specific area labeled '7.08 km²'. A dialog box titled '距離・面積計測' (Distance/Area Measurement) is open, showing options for '保存形式' (Save Format) with 'json' selected and 'kml' as an alternative, and '種別' (Type) with '線' (Line) selected and '面積' (Area) as an alternative. The '設定: 線色' (Setting: Line Color) is set to a purple color. A '消去' (Delete) button is also visible. On the right, a '機能 | 緯度経度' (Function | Latitude/Longitude) menu is open, with '距離・面積計測' (Distance/Area Measurement) highlighted in red. The bottom of the page shows the copyright notice '© New Energy and Industrial Technology Development Organization. All rights reserved.' and the current coordinates '35°56'53.17" (35.94810) 、 140°09'43.75" (140.16215)'.

5. 風況詳細

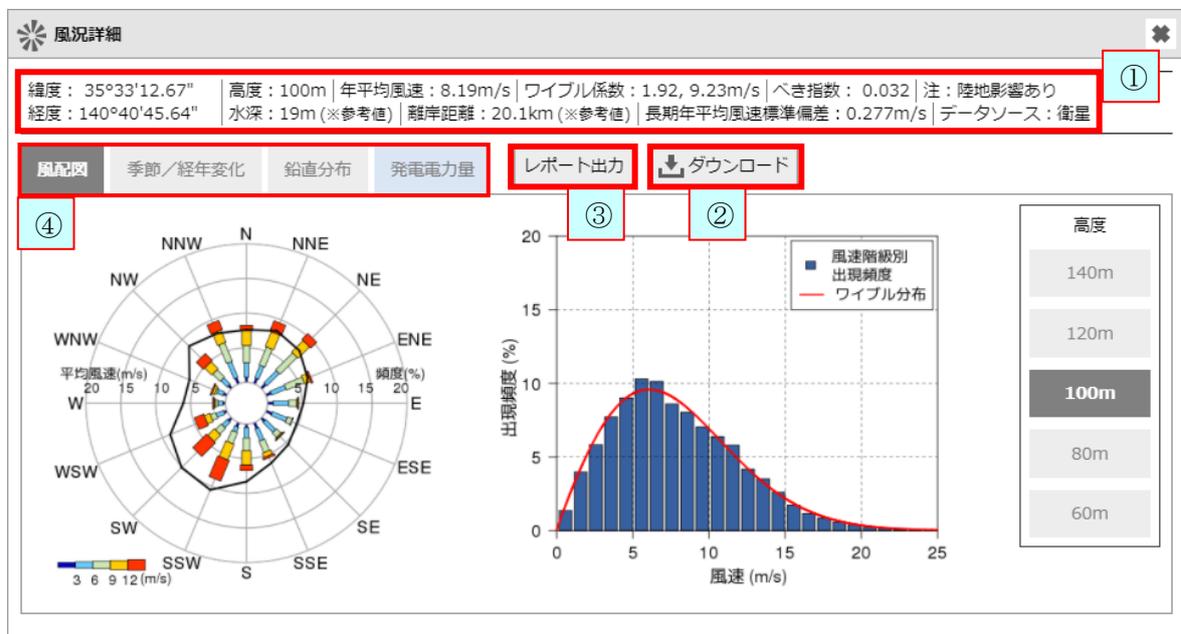
5-1. 風況詳細データ表示

風況データの詳細を表示します。

[風況詳細]をクリックし、地図上の任意の地点をクリックします。

選択した地点の風況詳細データ (①) が表示されます。表示中の風況詳細データはレポート出力(③) およびダウンロード (②) することができます。

また、「風配図」「季節/経年変化」「鉛直分布」「発電電力量」のタブ画面(④)から、表示中の風況詳細データについて詳細な内容を確認することができます。(5-1-1 ~ 5-1-4 参照)

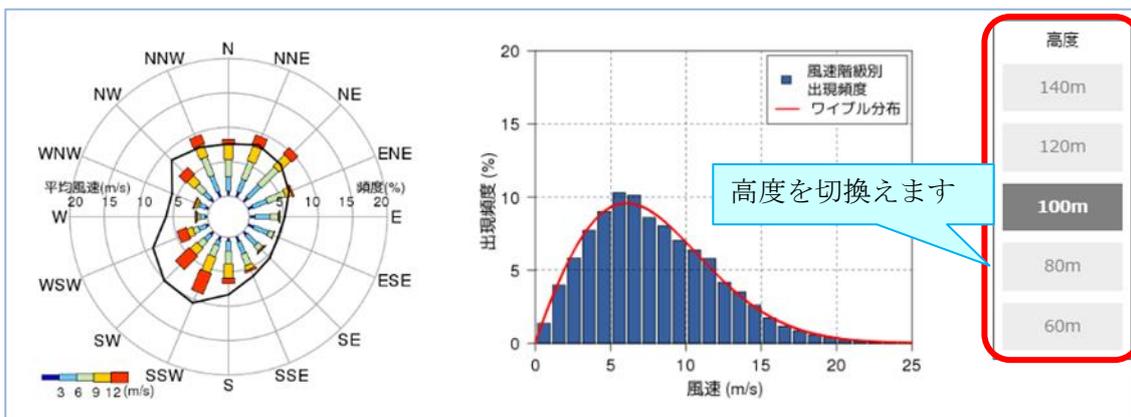


5-1-1. 風配図

風配図と風速の出現頻度分布を表示します。

「風配図」タブをクリックして、タブ画面を切り替えます。

風配図と風速の出現頻度分布を高度毎に確認できます。高度の切り替えは「高度」のパネルをクリックします。

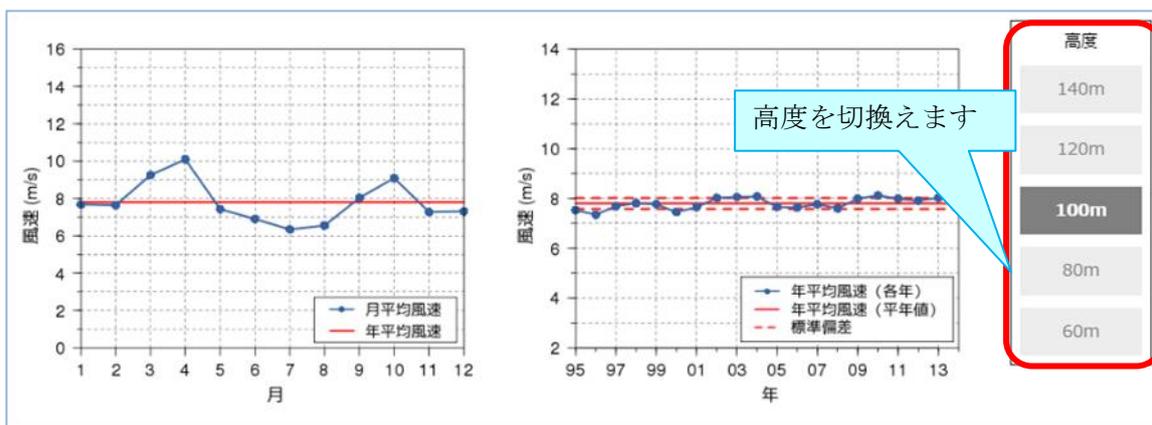


5-1-2. 季節／経年変化

月単位での風速の変動と年単位での風速の変動状況を表示します。

「季節／経年変化」タブをクリックして、タブ画面を切り替えます。

月単位での風速の変動と年単位での風速の変動状況を高度毎に確認できます。高度の切り替えは「高度」のパネルをクリックします。



5-2. レポート出力

[レポート出力]をクリックして、レポート出力ページを別ウィンドウで表示します。5-1-1～5-1-4に示した各図と周辺地図ををA4一枚にまとめて印刷できます。

[印刷]をクリックすると、印刷ダイアログが開きます。

NEDO NeoWins (洋上風況マップ)

緯度: 35°35'21.35" | 高度: 100m | 年平均風速: 8.19m/s | ワイブル係数: 1.92, 9.23m/s | ベキ指数: 0.032 | 注: 陸地影響あり
 経度: 140°44'42.94" | 水深: 19m (※参考値) | 離岸距離: 20.1km (※参考値) | 長期年平均風速標準偏差: 0.277m/s | データソース: 衛星

風況図

風速階級別出現頻度

© New Energy and Industrial Technology Development Organization. All rights reserved.

18

洋上風況 MAP

5-3. ダウンロード（風況詳細データ）

表示中の風況詳細データをダウンロードします。

全てのタブ画面の高度別データのファイルが作成されます。ダウンロードファイル名は、「データ種別」「東経」「北緯」「高度」（鉛直分布以外）で構成されています。



データ種別	ファイル名（タブ種別）	高度別のファイル作成
風配図	WINDROSE	有り
風速の季節変化	MONTHAVE	有り
風速の経年変化	YEARAVE	有り
鉛直分布	WINDPROF	無し

5-4. 風況詳細データフォーマット

ダウンロードできる各風況詳細データのフォーマットの詳細を示します。

5-4-1. 風配図

ファイル名：WINDROSE_XXXXXXXXXE_YYYYYYYN_HHHm.dat
 XXXXXXXXXX：経度（小数点を除いた度表示，例：14082500=140.82500°）
 YYYYYYYY：緯度（小数点を除いた度表示，例：3568000=35.68000°）
 HHH：高度（0埋めの3桁，例：080=80m）

フォーマット（図1参照）：

1行目：ヘッダ（経度[deg]，緯度[deg]，高度[m]，年平均風速[m/s]，長期年平均風速標準偏差[m/s]，ワイブル分布の形状係数（ k ）[-]，ワイブル分布の尺度係数（ C ）[m/s]

2行目：風速 0m/s 以上，1m/s 未満における風向別出現率[%]

3行目：風速 1m/s 以上，2m/s 未満における風向別出現率[%]

...

5-4-2. 風速の季節変化

ファイル名 : MONTHAVE_XXXXXXXXXE_YYYYYYN_HHHm.dat
XXXXXXXXXX : 経度 (小数点を除いた度表示, 例 : 14082500=140.82500°)
YYYYYYY : 緯度 (小数点を除いた度表示, 例 : 3568000=35.68000°)
HHH : 高度 (0 埋めの 3 桁, 例 : 080=80m)

フォーマット (図 2 参照) :

- 1 行目 : ヘッダ (経度[deg], 緯度[deg], 高度[m])
- 2 行目 : 年平均風速
- 3 行目以降 : 月 (省略英語表記), 月平均風速

```
lon[deg]= 140.82500 lat[deg]= 35.68000 hgt[m]= 80  
Ann. 7.40  
Jan. 7.15  
Feb. 8.00  
Mar. 8.35  
Apr. 7.22  
May. 7.43  
Jun. 6.70  
Jul. 7.79  
Aug. 7.56  
Sep. 7.07  
Oct. 7.29  
Nov. 7.01  
Dec. 7.22
```

図 2 風速の季節変化データのフォーマット

5-4-3. 風速の経年変化

ファイル名 : YEARAVE_XXXXXXXXXE_YYYYYYN_ZZZm.dat
XXXXXXXXXX : 経度 (小数点を除いた度表示, 例 : 14082500=140.82500°)
YYYYYYY : 緯度 (小数点を除いた度表示, 例 : 3568000=35.68000°)
ZZZ : 高度 (0 埋めの 3 桁, 例 : 080=80m)

フォーマット (図 3 参照) :

1 行目 : ヘッダ (経度[deg], 緯度[deg], 高度[m], 長期年平均風速標準偏差[m/s])

2 行目 : 年平均風速

3 行目以降 : 年, 各年の年平均風速

```
lon[deg]= 140.82500 lat[deg]= 35.68000 hgt[m]= 80 stdev_Vave[m/s]= 0.223
Vave 7.40
1995 7.15
1996 6.98
1997 7.31
1998 7.45
1999 7.35
2000 7.13
2001 7.34
2002 7.54
2003 7.68
2004 7.61
2005 7.15
2006 7.20
2007 7.30
2008 7.18
2009 7.48
2010 7.82
2011 7.62
2012 7.50
2013 7.60
2014 7.59
```

図 3 風速の経年変化データのフォーマット

5-4-4. 風速の鉛直分布

ファイル名 : WINDPROF_XXX.XXXXXE_YY.YYYYYN.dat
XXXXXXXXXX : 経度 (小数点を除いた度表示, 例 : 14082500=140.82500°)
YYYYYYY : 緯度 (小数点を除いた度表示, 例 : 3568000=35.68000°)

フォーマット (図4参照) :

- 1行目 : ヘッダ (経度[deg], 緯度[deg], べき指数 (α) [-])
- 2行目以降 : 高度[m], 各高度における年平均風速[m/s]

```
lon[deg]= 140.82500 lat[deg]= 35.68000 alpha= 0.115
10 5.89
20 6.22
40 6.77
60 7.14
80 7.40
100 7.57
120 7.72
140 7.83
160 7.87
180 7.92
200 7.97
```

図4 風速の鉛直分布データのフォーマット

6. ダウンロード

風況データをダウンロードします。

6-1. GIS データダウンロード

[ダウンロード]をクリックし、地図上の任意の地点をクリックすると、クリックした地点が含まれる1次メッシュのGISデータが圧縮ファイルとしてダウンロードされます。データの単位は、約500m格子(シミュレーションの単位)としています。

GISダウンロードデータは、以下のフォルダ構成からなります。

フォルダ名	概要
shp	高度別平面図
kml	shp を kml 化したデータ
csv	shp の属性のみ csv にしたデータ

6-1-1. shp データ

ファイル名：ZZZMMMM.shp
 ZZZ：高度（0埋めの3桁，例：080=80m）
 MMMM：1次メッシュ

属性データには、以下のデータが格納されています。

フィールド	内容
lat	緯度
lon	経度
val	年平均風速[m/s]
v	風速階級値(凡例の色分け用) 色分けは「凡例の色分け」を参照

凡例の色分け

風速階級値	風速[m/s]	RGB
30	3.0 未満	0, 0, 0
35	3.0 - 3.5	64, 0, 64
40	3.5 - 4.0	64, 0, 192

45	4.0 - 4.5	0, 64, 255
50	4.5 - 5.0	32, 160, 255
55	5.0 - 5.5	96, 220, 255
60	5.5 - 6.0	192, 255, 255
65	6.0 - 6.5	64, 255, 96
70	6.5 - 7.0	192, 255, 96
75	7.0 - 7.5	255, 255, 64
80	7.5 - 8.0	255, 192, 64
85	8.0 - 8.5	255, 96, 64
90	8.5 - 9.0	255, 16, 16
95	9.0 - 9.5	255, 96, 192
100	9.5 - 10.0	255, 160, 255
105	10.0 - 10.5	255, 220, 245
110	10.5 以上	255, 250, 250

6-1-2. kmz データ

ファイル名 : ZZZMMMM.kmz
 ZZZ : 高度 (0 埋めの 3 桁, 例 : 080=80m)
 MMMM : 1 次メッシュ

属性データには、以下のデータが格納されています。

緯度 : 緯度[lat]

経度 : 経度[lon]

年平均風速(m/s) : 年平均風速[m/s]

※kml の属性は、description タグ内に table タグで記述しています。

※6-1-1 の凡例の色分け表に示した通りに色分け設定されています。

6-1-3. csv データ

ファイル名 : ZZZMMMM.csv
 ZZZ : 高度 (0 埋めの 3 桁, 例 : 080=80m)
 MMMM : 1 次メッシュ

フォーマット (図 5 参照) :

25

-
- 1 行目 : ヘッダ (lon, lat, val)
2 行目以降 : 経度[lon], 緯度[lat], 年平均風速[m/s]

```
"lon","lat","val"  
133.00000,17.00000,7.54  
133.00625,17.00000,7.54  
133.01250,17.00000,7.54  
133.01875,17.00000,7.54  
133.02500,17.00000,7.53  
133.03125,17.00000,7.53  
133.03750,17.00000,7.53  
133.04375,17.00000,7.53  
133.05000,17.00000,7.53  
133.05625,17.00000,7.53  
133.06250,17.00000,7.53
```

図5 csv ダウンロードデータのフォーマット

7. 印刷

7-1. 地図印刷

地図を印刷します。

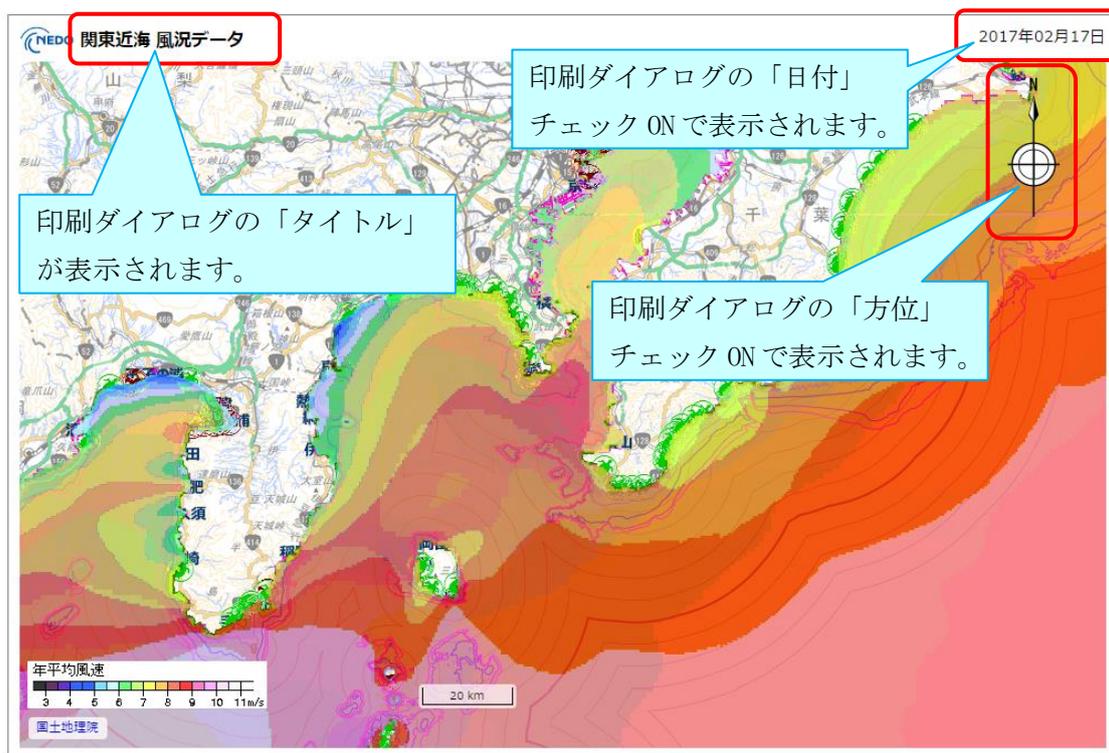
[印刷]ボタンをクリックします。

ダイアログが表示されるので、地図に表示させる項目と用紙サイズを選択します。



The image shows a dialog box titled "印刷設定" (Print Settings). It is divided into two sections: "整飾" (Formatting) and "用紙" (Paper). In the "整飾" section, there are three items: "方位記号" (Compass symbol) with a checked checkbox, "日付" (Date) with a checked checkbox, and "タイトル" (Title) with a text input field containing "関東近海 風況データ". In the "用紙" section, there is a dropdown menu currently showing "横" (Portrait). At the bottom of the dialog, there are two buttons: "プレビュー" (Preview) with a printer icon and "キャンセル" (Cancel) with an 'X' icon.

[プレビュー]をクリックし、印刷イメージを確認します。



海洋地質図は以下のリンクより表示してください（出典：産業技術総合研究所地質調査総合センター、海洋地質図(1:20万)）

[海洋地質図（表層堆積図）](#)

[相模灘及付近表層堆積図](#)

[海洋地質図（海底地質図）](#)

[相模灘及付近海底地質図](#)



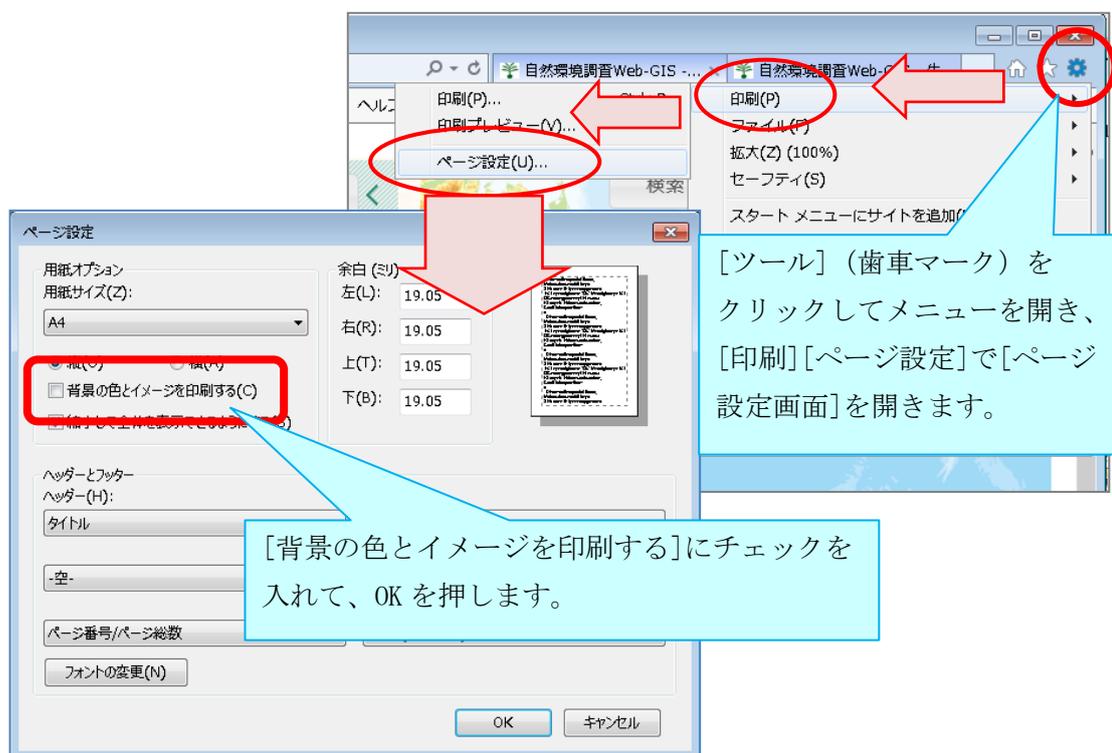
地図上に表示されているレイヤの凡例が表示されます。
※ 印刷時は次ページに印字されます。

※なお、位置検索結果及び風況詳細で選択した地点のポイントは印刷されません。

7-2. 地図印刷の設定

インターネットエクスプローラーを使用している場合、プレビュー画面では白く表示されていた凡例部の背景が、透過されて印刷されることがあります。ブラウザの印刷設定に従ったもので正常な動作ですが、凡例部が透過されて見づらい場合は次の方法で凡例の背景を白く表示して印刷することもできます。

インターネットエクスプローラーの[ツール]ボタンから印刷ページ設定画面を開きます。背景を印刷する機能をオンにします。



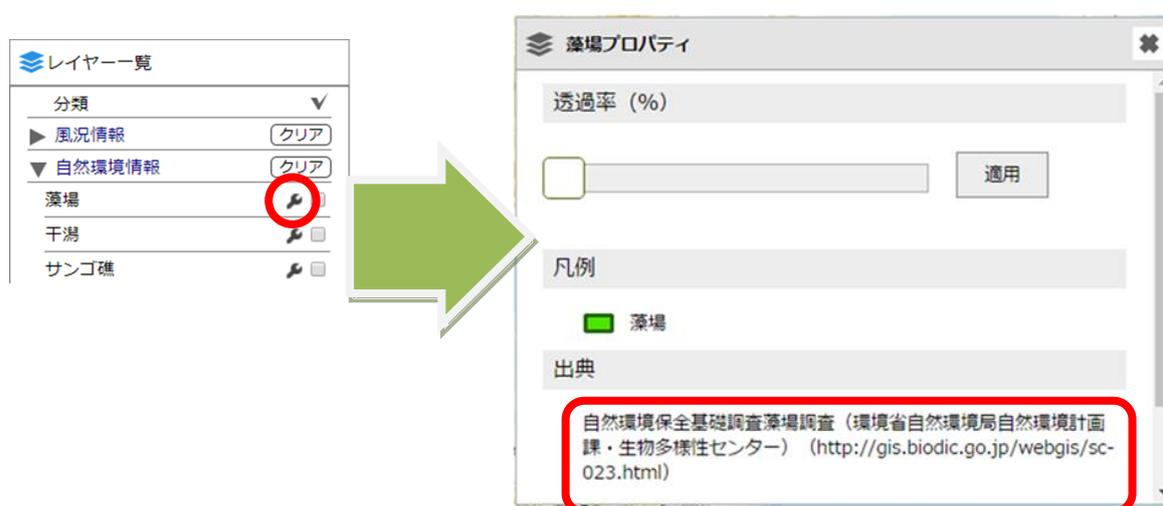
8. データの出典情報

本システム内で扱うデータの原典保有者を表示します。

8-1. システム上でデータの出典情報を表示する

本システムで扱うデータの出典を、システム内で表示します。

レイヤー一覧の中分類あるいは小分類から、出典を確認したいレイヤーのスパナマークをクリックします。該当するデータの出典情報が表示されます。



8-2. 本システムで扱うデータの出典一覧

本システムで表示可能な全データの出典は、以下の一覧の通りです。

データ名	原典
地理院地図	国土地理院（地理院タイル）
年平均風速（平面図）	国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）
風配図（年）（詳細風況図）	国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）
風速階級別出現頻度（詳細風況図）	国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）
風速の季節変化（詳細風況図）	国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）

風速の経年変化(詳細風況図)	国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)
風速の鉛直分布(詳細風況図)	国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)
国立公園区域	国土交通省国土政策局「国土数値情報(自然公園区域データ)平成22年度」を元にNEDOが編集
海域公園区域	国土交通省国土政策局「国土数値情報(自然公園区域データ)平成22年度」を元にNEDOが編集
港湾区域	国土交通省国土政策局「国土数値情報(港湾データ)平成22年度」を元にNEDOが編集
漁港区域	国土交通省国土政策局「国土数値情報(漁港データ)平成22年度」を元にNEDOが編集
国立公園区域	国立公園の区域(環境省自然環境局自然環境計画課・生物多様性センター) (http://www.biodic.go.jp/category/sonota/09.html)
藻場	自然環境保全基礎調査藻場調査(環境省自然環境局自然環境計画課・生物多様性センター) (http://gis.biodic.go.jp/webgis/sc-023.html)
干潟	自然環境保全基礎調査干潟調査(環境省自然環境局自然環境計画課・生物多様性センター) (http://gis.biodic.go.jp/webgis/sc-023.html)
サンゴ礁	自然環境保全基礎調査サンゴ調査(環境省自然環境局自然環境計画課・生物多様性センター) (http://gis.biodic.go.jp/webgis/sc-023.html)
海洋地質図(1/20万)	本サイトの地質図は、以下の著作物を利用しています。産業技術総合研究所地質調査総合センター、海洋地質図(1:20万)(https://www.gsj.jp/Map/JP/marine-geology.html)、クリエイティブ・コモンズ・ライセンス表示 - 改変禁止 2.1(http://creativecommons.org/licenses/by-nd/2.1/jp/)。
年平均波高(年平均、月平均)	国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構「海洋エネルギー発電技術共通基盤研究(性能評価手法及びポテンシャルの調査)」 (http://www.todaiww3.k.u-tokyo.ac.jp/nedo_p/jp/)
年平均波周期(年平均、月平均)	国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構「海洋エネルギー発電技術共通基盤研究(性能評価手法及びポテンシャルの調査)」 (http://www.todaiww3.k.u-tokyo.ac.jp/nedo_p/jp/)

漁業権（共同）	海上保安庁、農林水産省、各都道府県
漁業権（区画）	海上保安庁、農林水産省、各都道府県
漁業権（定置）	海上保安庁、農林水産省、各都道府県
水深(文字)	海洋台帳（海上保安庁）平成 28(2016)年 3 月 8 日時点
等深線	海洋台帳（海上保安庁）平成 28(2016)年 3 月 8 日時点
史跡	文化庁、各自治体、国土交通省国土政策局
名勝	文化庁、各自治体、国土交通省国土政策局
天然記念物	文化庁、各自治体、国土交通省国土政策局
航路（海交法）	海洋台帳（海上保安庁）平成 28(2016)年 3 月 8 日時点
航路（港則法）	海洋台帳（海上保安庁）平成 28(2016)年 3 月 8 日時点
指定錨地	海洋台帳（海上保安庁）平成 28(2016)年 3 月 8 日時点
検疫錨地	海洋台帳（海上保安庁）平成 28(2016)年 3 月 8 日時点
投棄区域	海洋台帳（海上保安庁）平成 28(2016)年 3 月 8 日時点
港則法びょう地	海洋台帳（海上保安庁）平成 28(2016)年 3 月 8 日時点
港則法区域	海洋台帳（海上保安庁）平成 28(2016)年 3 月 8 日時点
米軍演習区域	海洋台帳（海上保安庁）平成 28(2016)年 3 月 8 日時点
ウミガメ産卵地	海洋台帳(海上保安庁(原典:NPO 法人 日本ウミガメ協議会)) 海洋台帳（海上保安庁）平成 28(2016)年 3 月 8 日時点
哺乳類生息地	海洋台帳（海上保安庁（原典：国立科学博物館・水産総合研究センター北海道区水産研究所））海洋台帳（海上保安庁）平成 28(2016)年 3 月 8 日時点
鳥類生息地	海洋台帳（海上保安庁（原典：環境省））海洋台帳（海上保安庁）平成 28(2016)年 3 月 8 日時点
離岸距離	—
航空制限区域	国土交通省航空局(平成 30 年 1 月時点の情報で事業者の責において最新情報の確認を行うこと)
海上構造物	海洋台帳（海上保安庁）平成 30(2018)年 2 月時点
底質	海洋台帳（海上保安庁）平成 30(2018)年 2 月時点
沈船	海洋台帳（海上保安庁）平成 30(2018)年 2 月時点
海底障害物	海洋台帳（海上保安庁）平成 30(2018)年 2 月時点
船舶通航量	海洋台帳（海上保安庁）平成 30(2018)年 2 月時点
海底輸送管	海洋台帳（海上保安庁）平成 30(2018)年 2 月時点
海底ケーブル	海洋台帳（海上保安庁）平成 30(2018)年 2 月時点
自衛隊関連施設	自衛隊
米軍関連施設	自衛隊